国立台湾師範大学への協定留学(交換留学)　月例報告書

5月分

留学先大学:国立台湾師範大学　　氏名:山崎澪

【はじめに】

こんにちは。国際文化学科4年の山崎澪です。

5月の台湾は暖かく、日中の最高気温が30度を超える日もあり、暑さを感じることがありました。また、湿度が高く、梅雨の影響により雨の日も多くなりました。

本レポートでは、1学期の振り返りをテーマに、日常生活と学校生活についてお伝えします。

【日常生活について】

最近は夜市に出かける機会が増えてきたように感じます。特に公館夜市によく行っています。この夜市は公館キャンパスの近くで開かれており、寮からもアクセスしやすく、学校帰りに気軽に立ち寄ることができます。また、さまざまな美味しい食べ物や飲み物を楽しめるのも魅力です。

そこには、日本風(和風)の串焼き屋台があります。串焼きの種類は非常に豊富で、30種類を超えるほどです。ほとんどの串は1本30元から50元程度(2025年5月の為替レートで換算すると、およそ144円から240円※1台湾ドル＝約4.8円)で購入できます。

日本風の串焼き屋台は、台湾においても多くの人々に親しまれており、注文から受け取りまでの流れも比較的明確でわかりやすく、旅行者にとっても利用しやすいスタイルとなっています。

→日本風串焼き屋台の写真です。

注文方法

1.赤いトレーを取る
　赤いトレーを手に取ります。
2.好きな串を選ぶ
　トレーに食べたい串を自分で選んで並べます。
3.店員さんに渡す
　選び終わったら、トレーを店員さんに渡します。
4.お金を払う
　店員さんが合計金額を教えてくれるので、その金額を支払います。
5.串を焼いてもらう
　店員さんが炭火やガスで串を焼いてくれます。
　途中でソースを塗ってくれて、香ばしい匂いに食欲をそそられるのではないかと思います。
6.辛いソースをかけるか聞かれる
　焼いている途中に「辣不辣(らあぶらあ)」や「要辣嗎(やおらあま)」と聞かれることがあります。
　これは「辛いソースをかけますか?」という意味です。
　・かけてもらいたいとき:「要, 謝謝(やお、しぇしぇ)」
　・かけたくないとき:「不用, 謝謝(ぶよん、しぇしぇ)」
7.串を受け取る
　焼き上がった串は袋に入れて渡してくれます。
8.お礼を言って注文完了
　袋を受け取ったら「謝謝, 拜拜(しぇしぇ、ばいばい)」と伝えて、注文は完了です。

【学校生活について】

2月後半に始まった今学期は、6月の第1週で終了する予定です。今学期は「総合華語(二)」と「讀寫訓練(一)」の2つの授業を受講しました。ここでは、それぞれの授業を振り返り、下の表にまとめて紹介します。

項目	総合華語(二)	讀寫訓練(一)
曜日	月曜・木曜	水曜・金曜
時間	各日2コマ(各50分)	
場所	メインキャンパス	
学生数	約20名(留学生中心)	
教材	『新版 實用視聽華語3』	『今日台灣 中級漢語課程』
学習範囲	第6課～第11課	第1課～第5課
主な学習内容	会話文・単語・文法・短文	短文読解・単語・文法
学習テーマの例	試験、教育、アルバイト、容姿、選挙制度、台湾の歴史	夜市、飲食文化、台湾の地域社会
目的	会話力と文法の向上、実生活での運用力	読解力と表現力の強化、文化理解

→台北故宮博物院の写真です。
設立の背景には、中国本土から台湾へ運ばれた文物を保存、展示するという目的があります。

→翠玉白菜の写真です。
故宮博物院の所蔵品の1つで、天然石を使って、本物にそっくりの白菜の形に彫られています。葉の部分には虫も彫られています。

【終わりに】

来月で留学生活を終える予定です。また、留学レポートも今回が最後になるかと思います。貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、この留学で得た学びを今後に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。